

マハ、あなたは誰？

ペネロペ・クルス

アイタナ・サンチェス＝ギコン

裸のマハ

Volavérunt

PRADO

Freixenet

サン・セバスチャン国際映画祭 最優秀女優賞受賞

出演 // ジョルディ・モリャ・ネルヘ、ベルゴリア・スタファニア・サンドレリ

監督・脚本 // ビガス・ルナ 共同脚本 // クラ・カナルス 白岡陽色 // ジャン＝ルイ・ブノワ

撮影 // パコ・フェルナンデス 衣裳デザイン // フランシスカ・スカルシア・ピノ

美術 // ルイス・ヴァレス "コルド" 音楽 // アルベルト・ガルシア・デ・メストレス

Una producción de Espana-Francia MATE PRODUCTION SA, MDA FILMS,

FORMA INTERNATIONAL, UGC Y.M. et UGC INTERNATIONAL

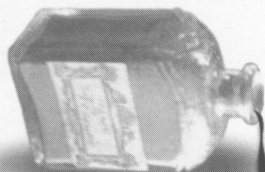
ノベライズ「裸のマハ」(黒田邦雄著) 徳間文庫刊

特別後援 // プラド美術館 特別協賛 // Freixenet (フレイシネ)

提供 // タキコーポレーション・東芝デジタルフロンティア・シネマハリジャン

配給 // シネマハリジャン <http://www.cinemaharajan.com>

CF UGC DOLBY DIGITAL



裸のマハ、

Volaverunt

ビガス・ルナ監督作品
ベネロベ・クルス アイタナ・サンチェス=ギヨン
ステファニア・サンドレリ ホルヘ・ベルゴリア (ゴヤ)
サン=セバスチャン国際映画祭最優秀女優受賞
ゴヤ賞/撮影・美術・衣装・特殊メイク各賞ノミネート
ノベライズ「裸のマハ」(黒田邦雄著) 絶間文庫刊
特別後援//ブラッド美術館展 特別協賛//Freixenet (フレシネ)
提供//タキコーポレーション+東芝デジタルフロンティア+シネマパリスジャン
配給//シネマパリスジャン <http://www.cinemaparisien.com>

「裸のマハ」のモデルは誰？そして美貌の公爵婦人を殺したのは？
世紀の謎を解き明かす、巧みなミステリー仕立ては必見！—— 桐生 操さん (作家)

ゴヤの傑作「裸のマハ」と「着衣のマハ」を大画面一杯に見る感動。
映画ならではの快樂だ。それにしてもモデルは一体誰なのだろう？—— 深井 晃子さん (服飾史家)

絵画史上初めて「陰毛」が描かれた「裸のマハ」の衝撃から200年。
ヨーロッパ全土を震撼させた世紀のミステリーの封印が、
いま解かれようとしている.....

19世紀を代表するスペインの宮廷画家フランシスコ・ゴヤ。彼が描いた不世出の名画「裸のマハ」には、そのドラマティックな誕生秘話にもまして、ミステリアスな真実が隠されていた。

『ハモンハモン』『おっぱいとお月さま』など陽光降り注ぐカタルニアの大地を舞台に、性と欲望と人生への讃歌を詩情豊かに撮り続けるスペイン映画界の鬼才ビガス・ルナ監督が、今なお謎に包まれた「裸のマハ」と、この名画にまつわる女たちの愛と憎悪、嫉妬と葛藤のドラマを、溢れるような色彩と豪華絢爛の美術、衣装、そしてなによりも官能の映像美の中にスリリングに描き出した。今際のきわで、公爵夫人は「ヴォラヴェルト、私は飛び去ってゆくよ」と言い残して、息を引き取ったという。その言葉には、一体どのような意味が隠されていたのか？奇しくも時代はナポレオンのスペイン侵攻前夜、今まさに最後の爛熟の花盛りだったスペイン宮廷に、ひとつの名画をめぐる200年もの間、誰にも知られることのなかった女たちの愛が秘められていたのである。

いま最もホットな女優ベネロベ・クルス、スペインを代表する国際派女優アイタナ・サンチェス=ギヨン、イタリアの女優ステファニア・サンドレリら、豪華女優陣たちを配し、その息を呑むほどの迫力と美しさ、エロティシズムが、観客の心を、あの輝かしいスペインの王政時代へと、今すぐに誘ってくれるだろう。

「裸のマハ」をめぐる3つの謎。

第一の謎。

この作品は、絵画史上、初めて女性の裸体画に陰毛を描いたとして、発表当時、騒然たるセンセーションを巻き起こし、後に異端審問所で告発されたという、いわく付きの絵画である。これまで「裸のマハ」のモデルとされていたアルバ公爵夫人。しかし「裸のマハ」にはしっかりと陰毛が描かれている。公爵夫人は、当時流行していたフランス式に陰毛を剃毛していた。それならば一体、モデルは誰だったのだろうか？

第二の謎。

「ナボリの黄色は見ただけで死ぬわ。コバルト紫は嗅ぐだけで血液が固まるの。何より過激なのはヴェロネーゼ緑」絵の具に潜む毒について、深い見識を示していたアルバ公爵夫人。それはあきらかにゴヤから得た知識に違いなかった。その後彼女は、「ヴェロネーゼ緑」が沈殿したグラスを残して、不可解な死を遂げる。彼女の死は自殺なのか、それとも他殺なのか？

第三の謎。

1802年当時、社交界の華として圧倒的な力を持っていたアルバ公爵夫人。彼女にはゴヤとは別の愛人が存在していた。時の宰相マヌエル・ゴドイ。彼こそは貴族社会の覇権を巡って4人の女性を、自分の意のままにしていたのだ。アルバ公爵夫人と激しい対立関係にあった王妃マリア・ルイーサ、政略結婚を強いられたチンチョン伯爵夫人。そしてゴドイが誰よりも寵愛してやまない愛人ベビータ・トゥドー。女たちはあからさまに激しい確執を繰り広げていた。この3人の女たちが、アルバ公爵夫人を死へと追いやったのだろうか？ その時、ゴドイは？ ゴヤは？

感動の名画に乾杯！
世界NO.1のスパークリングワイン、フレシネ。



Freixenet



「日傘」「巨人」「自画像」はじめ
ゴヤの名作も6点来日

プラド美術館展

3/5 → 6/16

上野 国立西洋美術館
お問合せ：ハローダイヤル03-5777-8600

6月8日(土)より、ロードショー!!

特別鑑賞券¥1,500(税込)絶賛発売中![当日一般¥1,800の処]

初日、先着限定で「フレシネ」のグッズをプレゼント!

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F
シネリーブル梅田
CINE LIBRE UMEIDA
06(6440)5930
www.nikkatsu.com

連日 12:15 2:20 4:25 6:30



◆ 各 回 入 替 制 ◆